

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称
製品名/品番 粉チヨーク青/PLC2-B300

会社情報

会社名 株式会社ミロク
担当部署 ハンドツール事業部
住所 静岡県三島市大場 449
電話番号 055-984-0367
Fax 番号 055-984-0363
緊急連絡電話番号 055-984-0367

推奨用途及び使用上の制限

建築における施工箇所への線引き等

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 区分 2
生殖細胞変異原性 区分 2
発がん性 区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分 1 (呼吸器、免疫系、腎臓、肺)

環境に対する有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓、肺の障害

注意書き

[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
 気分が悪い時は医師の診断／手当てを受けるはこと。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

[保管（貯蔵）]

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

強い眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓、肺の障害

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
炭酸カルシウム	471-34-1	1-122	29.30
結晶性シリカ	14808-60-7	1-548	30.00
酸化アルミニウム	1344-28-1	1-23	10.70
C.I.ピグメントブルー29	57455-37-5	5-3310	30.00

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合は、人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合、酸素を与える</p> <p>症状が続く場合には、医師に連絡すること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>直ちに汚染された衣類を脱いで、大量の水と石けんで洗うこと。</p> <p>症状が続く場合には、医師に連絡すること。</p>
眼に入った場合	<p>水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>症状が続く場合には、医師に連絡すること。</p>
飲み込んだ場合	<p>水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。吐かせないこと。意識がない場合は、口から何も与えないこと。</p>

予想される急性症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 酸化アルミニウムの職業ばく露により、肺に腺維症が認められた。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし
海洋汚染物質	情報なし
IBCコード	情報なし

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号	情報なし
品名	情報なし
国連分類	情報なし
副次危険性	情報なし
容器等級	情報なし

国内規制

陸上規制情報	情報なし
海上規制情報	情報なし
海洋汚染物質	情報なし
航空規制情報	情報なし

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

情報なし

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（シリカ）（0.1重量%以上を含有する製剤その他のもの）、（酸化アルミニウム）（1重量%以上を含有する製剤その他のもの）
水質汚濁防止法	指定物質（アルミニウム及びその化合物）
水道法	有害物質（アルミニウム及びその化合物）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項（炭酸塩、石英、酸化アルミニウム）
じん肺法	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業（シリカ、アルミナ）粉じん

16 その他の情報

参考文献

株式会社ミロク提供資料

NITE GHS 分類結果一覧

日本産業衛生学会（2014）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2014) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2012 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。